

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	勤労者協調融資事業	会計	一般会計	事業No.	364	施策順No.	12-002
		事業種別	政策・重点	予算科目	5-1-1-10-3		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	産業振興支援課		
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	S56	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	〇飯田市に居住をする勤労者 <原資預託先>長野県労働金庫飯田支店					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない					
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)										
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度						
		飯田市の勤労者数(H17国勢調査報告):人										
			51727	51727	51727	51727						
意図	〇低利な生活資金(物資購入等の資金)及び教育資金を借りることができるようにする											
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	年度新規利用者数:人					78	97	123	120	57	120	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	エコカー補助金などの影響により、自動車購入に伴う新規の借入れが9月までに急増し、利用率が100%となり、預託金の増額などを検討したが、預託金融機関にほぼ堂内容で低利の貸付が、期間限定により10月から開始されたため、それを利用してもらうこととした。したがって、実績が減少しているが、利用者は低利の融資が受けられている。											

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	〇市内に居住する勤労者の生活の安定と向上を図るため、長野県労働金庫飯田支店に1億7千万円預託し、預託金利を0%とすることで、勤労者に対して低利の融資を行なう。 貸付限度額、生活資金200万円、教育資金300万円。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	市内に居住する勤労者に、生活資金及び教育資金を低利で融資。 長野県労働金庫飯田支店に預託して実施。 1 あっせん件数及び融資額 (1)生活資金 (2)教育資金 2 融資残高 (1)生活資金 (2)教育資金 3 貸付枠 4 融資利率	1(1)新規 融資件数 新規融資総額 (2) 新規融資総額 新規融資総額 2(1) 融資件数 融資総額 (2) 融資件数 融資総額 3 貸付枠 4 融資利率	51件 65,730,000円 6件 6,330,000円 266件 192,226,062円 70件 51,108,944円 289,000,000円 1.98%
23年度実施計画	市内に居住する勤労者に、生活資金及び教育資金を低利で融資。 長野県労働金庫飯田支店に預託して実施。 1 あっせん件数及び融資額 (1)生活資金 (2)教育資金 2 融資残高 (1)生活資金 (2)教育資金 3 貸付枠 4 融資利率	1(1)新規 融資件数 新規融資総額 (2) 新規融資総額 新規融資総額 2(1) 融資件数 融資総額 (2) 融資件数 融資総額 3 貸付枠 4 融資利率	

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		その他	170,000	170,000	170,000	
	一般財源					
	計 (A)	170,000	170,000	170,000		
	正規職員所要時間		100			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)		358			
	トータルコスト A+B		170,358			

4 事業に対する市民や議会の意見

市内に居住する勤労者に低利で融資を行う制度のため、UIターンして求職活動中の人が利用できる融資制度の検討も必要との声がある。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内の従業員、地域内の企業、人材 ①事業活動を改善する ②企業立地、起業・就職できる	施策の成果指標又はムトス指標	①新規就業者数(新卒のみ) ③UIターン者数 飯田下伊那
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	利率の引き下げにより利用者の返済額負担が軽減される。		
	後期に向けた課題	多くの勤労者が利用できるよう、より低利で、融資枠を多く取れるよう設定すること。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	多くの勤労者が利用できるよう、低利で、融資枠を多く取れるような設定。利用率が高く、平成21年度途中から預託金額を増額して対応した。		
	後期に向けた課題	多くの勤労者が利用できるよう、より低利で、融資枠を多く取れるよう設定すること。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	融資の事務的な手続きは労働金庫飯田支店で行われる。市は融資要綱に基づき融資決定手続きを行い、融資残高の確認を行う。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	利用の状況に応じて預託金額を増額して対応した。		
	後期に向けた課題	多くの勤労者が利用できるよう、より低利で、融資枠を多く取れるよう設定すること。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	① 市内に在住する勤労者 ② 多くの勤労者が利用できるよう金利などの設定。		
	後期に向けた課題	多くの勤労者が利用できるよう、より低利で、融資枠を多く取れるよう設定すること。		
全体を通じて	4年間の振り返り	多くの勤労者が利用できるよう、低利で、融資枠を多く取れるような設定。利用率が高く、平成21年度途中から預託金額を増額して対応した。		
	後期に向けた課題	多くの勤労者が利用できるよう、より低利で、融資枠を多く取れるよう設定すること。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------